

提出前に提出書類に不備がないか、このチェックリストを利用して確認してください
— このチェックリストは、提出する必要はありません —

懸賞論文提出書類 チェックリスト

応募論文について、以下の項目を満たしているか確認のうえ✓をつけてください。
所定の条件、論文としての体裁を満たしていない場合、失格となることがあります。
必ず募集要項等に目を通し、不備のないよう注意してください。

- 「論文要旨およびキーワード提出用シート」は添付してありますか。
- キーワードは2〜3個程度記入してありますか。（記入必須）
- 目次ページはありますか。
- 目次ページを1ページ目とし、目次・本文に頁付けをしてありますか。
- 文献のリストはついていますか。
 - ・文献リストには、著者名、編者名、翻訳者名、書名あるいは論文名、掲載誌名、発行年、出版社名等を、明記すること。特にインターネット上の資料を掲載する場合には出典がはっきりしない場合があるので、URL およびアクセス年月日も付記すること。
 - ・インターネット上にある資料でも、書籍や雑誌、報告書など印刷媒体がある場合は、印刷媒体を優先すること。
- 参考・引用した全ての資料について、出典を明記してありますか。
- 注は番号をふり、章末あるいは全体の末尾にまとめて記入、あるいはページ毎に脚注として記入してありますか。（なお引用注については、引用箇所のページ数も必ず入れること）
- 論文字数は守られていますか。
- 誤字脱字はありませんか。
- 教員による推薦は得ましたか。（教員による推薦を得ていない論文は予備審査の対象となります）
- 提出用論文は、紙媒体（3部）と電子媒体の両方を用意しましたか。
- アンケート等を用いて個人の情報またはデータ等を収集・採取していますか。
- (上記にチェックを付けた場合) 上記の個人の情報またはデータ等を収集・採取する際に、予め研究対象者の同意を文書にて得ていますか。また、同意を得ていることを論文内で示していますか。

剽窃（ひょうせつ。他人の文章などの字句または説を、ことわりもなく盗んで自分のものとして発表すること。）は許されない行為であり、学生の本分に著しく反する行為です。インターネットや書籍だけでなく、ゼミ等で共有されている研究成果等も、出典を明示しないなど不適切な形で、自らの論文に記載して提出した場合は剽窃とみなされる可能性があります。剽窃とみなされる箇所がある場合は失格となります。また、剽窃が発覚した際には、所属学部にも通知する場合があります。なお、受賞後でも遡及して受賞を取り消すほか、何らかの処分の対象となる可能性があります。引用文献等がある場合、注や文献リストを用いて適切な書式で明記してください。

< 注 意 >

応募論文が入賞した場合、応募代表者および共同作成者の学部学科・学年・氏名（フルネーム）・顔写真・論題・キーワードについて、本学 HP や Web 掲示板・大学が発行する印刷物等で公表することがあります。